

# ご近所の お医者さん

  
454  

そねざき古林診療所長 古林敬一さん 一大阪市北区

## 性感染症

私は性感染症(いわゆる性病)を専門に診る医者で、ご近所でもあまり見かけないタイプかと思えます。

1年ほど前にテレビのバラエティー番組を見ていたら、ある男性タレントによる女性に対する不適切な行動が

取り上げられ、それについてイラストレーターのみうらじゅんさんが「男って、若い頃は、ちんちんの手先じゃないですか」と言いにくそうにコメント



## 男女とも梅毒が急増中

私はいま(読みやすいように言葉の順序を変えて引用しています)。みうらさんは続けて、「そういう傾向を教育で正していく必要がある」という趣旨のこともおっしゃっていました。

性感染症の代表格である淋病やクラミジア感染症は全国的に2002年ごろをピークに減り続けています。その一方、大阪府では男性は13年から、女性は15年から、梅毒が急増しています。

昨年の患者が男性約500

私は、かつて若い頃もあった一男性として、みうらさんの発言に共感するとともに、性感染症の診療経験から、思わずテレビ画面に向かってツツコミました。「手先になるのは若い時だけやないで」と。社会の重責を担う政官界のエリートがなぜ次々と性的スキャンダルを起こすのか、読者のみなさんは怒りや疑問を持ってもらえることでしょうか。頭脳明晰なエリートといえども、あっさり「手先モード」になって

人、女性約300人で02年ごろの数倍に達し、今年さらには昨年を上回るペースで増加中です。梅毒は「梅毒トレポネーマ」という名前の細菌による慢性の性感染症ですが、早期発見できれば、治しやすい病気です。なので、身に覚えのある人がいたら、たとえ無症状であっても梅毒の血液検査を受けるように勧めてください。検査は保健所や保健センターなどで無料で受けられます。

しまう場合があると考えざるを得ません。さて、本業の性感染症診療の話をします。